学校番号	3019

令和８年度　商業科

教科	商業	科目	課題研究 （ビジネス探究）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	岡本尚也著「課題研究メソッド」（啓林館）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

商業に関する基礎的･基本的な学習の上に立って､生徒各自が商業に関する研究テーマを設定し、主体的にその課題を探究します。課題の解決を図る学習を通して、商業に関する専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、自ら課題を発見して解決する能力や生涯にわたって自発的、創造的に学習に取り組む態度を身につけます。最終的に１年間の研究成果を資料にし、プレゼンテーションを行います。

2　学習の到達目標

【知識および技術】
設定した研究課題について、専門的な知識や技術、正しい情報を収集し、解決するための能力を身につけている。
【思考力、判断力、表現力等】
単元に応じて計画を立て、各自のテーマや課題に関心を持ち、作品や発表できる態度を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
個人やグループワークをとおして、周囲と協働する力と自ら学ぶ力を身につける。

・商業に関するテーマを各自の興味関心に応じて設定し、疑問や課題の解決を図ることができる。
・研究テーマに対するリサーチクエスチョンを導き出し、仮説を立て、適切な研究方法を選んで、研究計画が策定できる。
・研究成果として概要報告書や研究計画書等を作成し、それぞれに対する報告・発表ができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・これまでに学んだビジネスに関する知識や技能を基に、自ら情報を収集、整理、加工ができる。 ・収集した情報を統合し、新たな情報を生み出すことができる。 ・これまでに発表されている論文や発表を見て、盗用、誤用することなく引用したり、参考にすることができる。	・主観的思考を表現できる。 ・ネット上に溢れる多くの情報から正しい情報だけを取捨選択でき、客観的情報を伝達できる。 ・客観的情報を積み重ねた結論と主観に基づいた仮説との相違点を見出し、考察結果を報告できる。 ・研究計画書、研究報告書を作成し、発表できる。 ・他の生徒の発表を観察し、客観的な評価ができる。	・自らの興味関心に応じて、研究に対する疑問を深めることができる。 ・研究テーマに対する問いを立て、計画的に課題を解決することができる。 ・様々な方法で多角的、多面的に情報を収集し、適切な方法で研究を進めることができる。 ・これまでに発表されている論文や発表を見て、参考にすることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	研究（基礎）	ガイダンス 研究テーマ①練習 研究テーマ② 研究テーマ③	a:ワークシートや作品を作成する上での指示を理解し、作成スキルを習得できる。 b:ワークシートや研究計画や報告ができ、発表できる。 毎週のワークシートに内容を記録でき、他の生徒の発表を客観的に観察できる。 c:他者の意見や発表を参考に自らの考えを統合し、自分なりの方法を工夫できる。	ワークシート 作品	研究計画 研究報告 作品	ワークシート 相互評価シート 振り返り 研究姿勢
2	研究（標準）	研究④テーマあり研究 研究⑤テーマなし研究	a:ワークシートや作品を作成する上での指示を理解し、作成スキルを習得できる。 b:ワークシートや研究計画、研究経過を基に発表でき、資料が作成できる。 毎週のワークシートに内容を記録でき、他の生徒の発表を客観的に観察できる。 c: 他者の意見や発表を参考に自らの考えを統合し、自分なりの方法を工夫できる。	ワークシート 作品	研究計画 研究報告 研究資料 作品	ワークシート 相互評価シート 振り返り 研究姿勢
3	研究発表	研究報告・発表 振り返り	a:資料を作成する意図や目的を理解したうえで、寄り高いスキルを習得できる。 b:研究内容を基に発表できる。他の生徒の発表を客観的に観察できる。 c: 他者の意見や発表を参考に自らの考えを統合し、自分なりの方法を工夫できる。	研究資料 研究報告 発表 作品	研究報告 研究資料 作品	相互評価シート 振り返りシート 研究姿勢

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度